

■インド後発薬大手ルピン、米同業を買収へ

1090 億円【<http://www.nikkei.com/article/DGXKZO90155960U5A800C1FFE000/>】

【ムンバイ＝堀田隆文】インド後発薬大手ルピンは米国の同業であるガビスを買収する計画を発表した。このほどそれぞれの取締役会がルピンによる買収を承認し、2社の間で基本合意した。買収額は8億8千万ドル（約1090億円）となる見通しで、インド後発薬大手による海外買収では直近10年間で最大級の規模となりそうだ。

ルピンはガビスとの合意を受け、具体的な買収手続きを進める予定だ。2015年内の買収完了を目指すとみられる。

ガビスは07年創業の新興企業だが、後発薬の開発から製剤、流通まで幅広く手掛けている。14年度の売上高は9600万ドルだった。米国のニュージャージー州に生産拠点をもち、同国内に開発拠点も持つ。

ルピンの15年3月期の連結売上高は1277億ルピー（約2400億円）だった。インドやアフリカ、日本での事業拡大に力を入れているが、米国は連結売上高のうち4割以上を占めており、同社にとって最大市場となっている。買収により、米国事業を大幅に強化する。